

水稻の作柄に関する委員会（平成25年度第2回）議事概要

1 開催日時：平成25年9月4日（水） 13:30～14:45

2 開催場所：農林水産省大臣官房統計部第1会議室

3 出席者：【委員】

染英昭座長、中園江委員、長谷川利拡委員
平澤正委員、藤川典久委員

【事務局】

大臣官房統計部長、生産流通消費統計課長 他

4 議事

平成25年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び次回調査の実施に当たっての留意事項について

5 議事概要（○：委員からの発言）

事務局から平成25年産水稻の8月15日現在における作柄概況調査結果について説明後、各委員から意見・提言を受けた。

○ 北海道、東北、北陸、中国、九州等の各地で7月から9月初めの大雨で冠水等の被害が発生しているため、これらの収量に対する影響や今後の大雨・台風の動向について注視する必要がある。

○ 7月上旬以降、寡照・多雨であった東北については、もみ数に注視する必要がある。

○ 九州を始めとする関東以西では6月の日照時間が少なかったことによる穂数に及ぼす影響について留意する必要がある。

○ 今年の気象の特徴の1つとして、8月中旬の記録的な暑さがあった。今後の気象の見通しとして、9月は気温が平年より少し高めに推移すると予想されるが、昨年のように9月中旬になって猛暑日が発生するようなことはない見込みである。また、天気は東、西日本を中心に秋雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多くなる見込みである。

○ 8月は全国的に高温で経過していることから、高温による品質や登熟への影響に留意する必要がある。

○ 穂いもち、斑点米カメムシ類等の病虫害発生が多いと予想されている地域については、その被害の状況を注視する必要がある。

以上の意見を踏まえ、委員会としての意見をまとめ、その場で了承された。

(http://www.maff.go.jp/j/study/suito_sakugara/pdf/opinion_h250904.pdf)